

Log System 株式会社log build

遠隔管理サービスがオールインワン 現場タスクを最大60%削減 建設会社の経営者が作ったリモート施工管理システム

現場管理に必要な機能がすべて揃った「Log System」。

360度VRで現場の全体像を再現する「Log Walk」は、現場監督・設計・IC・営業・経営層・協力業者まで、関係者全員が同じ空間情報を“見る・記録する・伝える・共有する”ための基盤だ。

加えて、遠隔での確認・指示を可能にする「Log Meet」は、全棟に共通するルールでのチェックを遠隔で実施できる機能を備え、品質管理の標準化を強力に後押しする。図面作成の代行、チェックシートや報告書の自動化なども含め、施工管理に必要な業務をワンパッケージで支援する。

これにより、移動時間を中心に現場タスクの最大60%を削減しながら、全棟で同一品質の現場管理を徹底できる体制を構築。業務の可視化と標準化により、属人性を排除し、経験の浅いスタッフでも安定運用が可能になる。顧客対応力も高まり、現場全体の品質が底上げされる。



また、「リモートダイコウ」では、log build 専任チームが10以上の工程をオンラインで確認し、品質・安全面の管理までを代行。“現場をしっかりと管理したい”という想いを、最小の負担で実現できる新しい現場運営の形を目指している。

全国 **60,000** 以上の
現場で利用!!



リモート施工管理におけるトータルサービスを提供



Log System が連携する
ダイテックの現場 Plus
の詳細は、本誌 P.24 ~
掲載しています

INTERVIEW



建設テック事業 株式会社 log build 代表取締役
住宅事業 株式会社 ecomo 代表取締役

中堀 健一 氏

仕組みで支える現場監督—— 「段取り八分」を取り戻す、Log System という選択

私は神奈川県藤沢市で ecomo という住宅会社を営んでいます。約8年前からDXに取り組む中で、特に注力してきたのがオンラインによる施工管理です。

私自身、かつて現場監督として奔走していた経験があり、移動の非効率や属人化による品質ブレに強い課題感を持っていました。そうした現場の実務課題を ecomo で徹底的に洗い出し、解決策として立ち上げたのが、log build による「Log System」です。

Log System は、360度VRで現場を再現・記録・共有できる「Log Walk」や、遠隔からの立ち会いや是正指示を可能にする「Log Meet」を中心に、現場を“見える化”し、関係者全員で共有・管理できる体制を構築するための仕組みです。

現場監督という職種は、制度上の定義がなく、資格も不要です。極端な話、業界未経験の人でも“今日から現場監督”と名乗れてしまう——それほど曖昧な職能です。その起源は、戦後のプレカット工場の登場と施工分業体制の広がりにあります。

本来棟梁が一手に担っていた現場管理が、設計と施工に分離されたことで、品質の乱れや責任の所在不明が常態化し、それを是正する役割として「現場監督」が登場しました。

ただし、現場の忙しさの本質は「施工不備」ではなく「前工程の不整合」にあります。施主・設計・営業の情報が図面に落ちておらず、職人が誤って施工し、是正工事・手戻り・工程遅延が発生——これが監督を疲弊させ、会社の粗利を削っている要因です。

実際に、見積時は粗利25%を見込んでいても、是正対応が重なれば最終的に18%程度になる。3,000万円の現場であれば、たった1件の対応ミスで210万円の利益が失われます。しかもこのロスの多くは、「前工程での確認」と「施工完了時の立ち会いチェック」さえしていれば防げた」極めてシンプルなミスです。

そこで ecomo では、現場監督から品質管理業務を切

り離し、積算や原価管理といった“前工程”に集中できる体制を構築しました。

社内には品質管理部を新設し、未経験で入社した女性社員がリモートオペレーターとして、Log System を活用しながら年間40棟のチェックを担当。図面と標準化されたチェック項目に基づき、会社ルールに沿って職人と15分程度のリモート立ち会いを実施し、品質を安定的に管理しています。

「人がいない」「始められない」企業のために log build が立ち上げから伴走

とはいえ、人材をすぐに確保できない会社や、そもそも忙しくて仕組みを考えられない会社も多くあります。

そこで2024年に立ち上げたのが「リモートダイコウ」です。進捗・品質・安全の管理を log build 専任チームが代行するもので、新規導入時の立ち上げ支援はもちろん、リモートオペレーターの退職者が出た際の“つなぎ”としても活用できます。

Log System とリモートダイコウの最大の価値は、「未然防止の仕組み化」です。各工程でのチェックポイントを履歴付きで明確にし、属人化せずにミスを防げるルールを全棟に適用できるようになります。

現場監督の仕事は「段取り八分」と言われます。本来は、図面・見積・工程・原価といった前工程にこそ時間を使うべきであり、現場を駆け回ることが仕事ではありません。

Log System は「現場に行かないための道具」ではなく、「本当に必要な仕事に集中するための仕組み」です。訪問を減らすことで、1棟あたり約75時間の余白が生まれ、原価精度、顧客対応、職人連携など、企業としての付加価値に還元できます。教育や引き継ぎも、記録ベースで伝承できるようになれば、再現性のある組織へと進化できます。“現場を支えるのはスキルではなく、仕組み”だと思います。



パートナー企業

HINOKIYA

EcoWorks

OKUTA

機工務店

工藤建設株式会社

株式会社 築木材店

住宅情報館

阿部建設株式会社

TOKEN BUILDER

シェア No.1

リモート施工管理サービス

提携企業

平松建築

ひだまりぼーむ

Fresco

HOUSE CRAFT

HOKUSHU

POLUS

MAEDA HOUSING

静鉄ホームズ

CIEL HOMEDESIGN

「段取り八分」を取り戻すための リモートダイコウ

Log Systemの導入で現場監督がどう変わるか
(1棟あたりの工数・コスト削減試算)

※ 1 時間あたり 5,000 円での換算で記載。

項目	一般的な状態 (従来型)	Log System 導入後	削減時間/棟	削減コスト (5,000 円 / h)
進捗確認	毎週 3 ～ 4 回現地巡回 (60 回/棟)	Log Walk の週 2 回撮影 + Log Meet でのリモートチェックにより 訪問回数を 10 回以下に削減	75h	37.5 万円
品質管理	現場監督が主観チェック。属人判断に依存	標準施工要領書と品質管理チェックシートを監督以外の第三者 (リモートオペレーター) が実施することで、会社ルールに基づいたチェックが可能。	6h	3.0 万円
安全管理	月 1 回の現地パトロール、記録は紙や口頭	360 度 VR で全棟を毎月 1 回安全パトロール可能。全現場が綺麗になり、お客様も大喜び。大工が綺麗にしていると、協力業者も現場を綺麗に扱いますよね。	4h	2.0 万円
情報管理	受発注業務や職人・施主との事前打ち合わせを全て監督が現場で対応	デスクワーク時間を増やすことで受発注業務、職人、お施主様事前打ち合わせに集中できる。	10h	5.0 万円
原価管理	図面・見積の確認や指値が“スキマ時間対応”で精度低下	デスクワーク時間を増やすことで、集中作業が可能、見積書、図面のチェック、指値が可能に。ベテラン社員は、積算専門の業務も可能	8h	4.0 万円
それ以外対応	イレギュラー、新規職人、近隣、施主対応すべてが監督依存	イレギュラー対応、新規の職人対応、近隣対応、お施主様対応に余裕を持った行動が可能	6h	3.0 万円
教育・引き継ぎ	普通は、現場監督は、OJT という名で現場監督と一緒に外回りばかりしていて、教育レベルが低い	Log Walk の履歴と標準施工要領書、品質管理チェックシートなど会社ルールが明確なので、教育も引き継ぎもスムーズになる。さらに、オフィスにいるようになり、多くの方から教育を受けられる環境に	4h	2.0 万円

(資料：log build が作成)

現場監督とオペレーター(リモートダイコウ)の役割分担 (比較表)

Log System を活用することで、現場監督が担っていた全ての業務をリモート化するのはなく、現場の価値が高い業務に集中し、チェックや記録などの再現可能業務はオペレーターが担う体制へ移行できる。

項目	現場監督 (これまでのやり方)	リモートオペレーター (Log System)	どう変わるか・うれしいこと
品質管理	職人さんに任せきりになったり、場面ごとの判断でバラつくことがある	決まったチェックリストで、どの現場も同じように確認・記録ができる	品質にムラが出ず、後からのやり直しが減っていく
安全管理	時間があるときだけ見に行く。記録も残らず、なんとなくで終わることも	全ての現場を全棟同一基準でパトロール。記録も写真とチェックシートで残す	現場がきれいに保たれ、誰が見ても安心できる
工程管理	その都度連絡や調整をするので、頭も時間もいっぱいになる	1 棟で 10 工程以上の立ち会いをリモート実施。オペレーターが職人と日程を調整	工程遅れを会社全体で把握可能。「あれ、もう工事進んでた！」が起きなくなる
精神的負担	すべて自分でやらなきゃと背負いこみ、いつも気が抜けない	図面や標準図通りの施工チェックを任せられる	本当に必要な段取り業務に集中でき、心の余裕が生まれる
現場の DX 化	ツールを入れても実際には使われず、現場ごとにばらばら	職人さんへの声かけや操作のサポートまで一緒にしてくれる	「うちの現場もちゃんと使えるようになった」と実感できる

(資料：log build が作成)

株式会社 log build
TEL:0466-90-3381 <https://www.log-build.com>

